



早いもので平成27年度も4ヶ月過ぎました。新人看護師さんも職場に徐々に適応し、夜勤の独り立ちが始まりました。先輩看護師さん方の指導支援の甲斐があり、新人看護師さん皆さんが順調にクリニカルダラーを登りつつあります。今年度からクリニカルダラーの認定制度を確実に進めておりますが、皆様は、どのレベルにチャレンジする予定ですか？ また、目標管理の徹底も進めておりますが、組織の目標→看護部の目標→部署の目標→個人の目標というプロセスの中で、それぞれが組織人として、経営意識を持ち、医療看護の質を向上させる強い意思の下、日々の働き甲斐のある職場風土を作っていただきたいと思います。

そのためには、看護師の教育研修だけではなく、副看護部長・看護部長・副看護部長・看護部長ももっと勉強し、『働き甲斐のある職場作り』を推し進めて欲しいと願って、職位毎の研修をしております。

離島の病院は諸事情があり同じような結果にはなっておりませんが、離島以外の看護職員の離職率は大幅に減少しております。これは、3年前と比較して、「働きやすい病院」になりつつあるのではないかと考えております。しかし、そのことも一番大事なことで、経営としても結果を出さなければなりません。

診療報酬改訂のあおりを受けて、どこの病院も運営に苦慮しているようですが、慈愛会も同じように経営的な危機状態と言って過言ではありません。職員一人ひとりが、自分の病院・施設の台所事情をよく理解し、細かいところから節約と効率よい業務を今していかなければ、2年後の理想的な新病院にはたどり着きません。経営的にも運営的にも成果を上げていくことです。

しかし、効率的とは言っても、手を抜くことは許されません。看護の質を向上させつつ効率的業務改善をしていかなければなりません。ただ笑顔を忘れず患者の傍に寄り添うだけでは、質の高い看護とは言いません。各病棟・各部署の特徴を生かした看護とはどういうことか、立ち止まり、特徴を活かした看護の醍醐味を伝え、実践していくことこそ、スタッフの育成に繋がり、本物の『働き甲斐のある職場環境作り』に繋がると思います。皆さんと共に構築していきましょう!!

統括看護部長；中重敬子

平成28年度 看護補助者募集活動に力を入れています!!

平成26年4月に2名、平成27年4月に3名の高校を卒業した看護補助者の方が、慈愛会（今村病院分院）に入職しています。看護師への道、介護福祉士への道など夢を持って入職されました。

現場では、明るく元気に、そして素直に、患者様やスタッフの皆さんとコミュニケーションをとっているようです。

7月6日（月）に、鹿児島県主催の「県内企業と高校等就職指導担当者との情報交換会」に看護部支援室が参加いたしました。そこでは、『医療・福祉に興味のある学生がいるのでぜひ話を聞きたい』と高校の先生方が慈愛会のブースに来ていただきました。慈愛会の方針や使命を紹介し、看護補助者として入職後に看護師・介護福祉士の道があるということを熱く語り、PRしました。

卒業生を分院へ送った先生は、卒業生が今どのような状況なのか気がかりで、病院訪問し卒業生の成長を見たいと希望され、実現に繋がりました。

来年度も、夢を持った看護補助者の方の入職を楽しみにしています!!

4階中央病棟 外園菜々さん
4階東病棟 春田奈穂美さん
5階病棟 坪内かな子さん



平成27年3月に高校を卒業した3名の看護補助者（今村病院分院）

平成28年度採用 看護補助者採用試験
9月26日（土）・10月31日（土）
12月5日（土）・1月30日（土）
医療・福祉に興味のある学生さんにぜひ声を掛けていただきたいと思います。

中重統括看護部長投稿；看護雑誌「看護展望8月号」特集「プロの看護補助者の育成」の中で、看護補助者のキャリア開発支援について掲載しております。ぜひご覧ください。

平成27年度 看護部長研修実施

6月6日（土）、5病院1老健施設と看護学校の8名のトップマネージャー同士が集まり研修を行いました。日頃のジレンマや想いの共有化がとても重要だという事がわかりました。看護部長・副学校長は、質の高い看護の提供をするために部下の育成、決断の時期など課題を抱えておりました。今回は、看護管理者に求められるコンピテンシーを基に、具体的事例と評価基準を中心に講義し、その後KJ法を用いてグループ討議しました。トップマネージャーとして社会のニーズに沿って変革刷新していく覚悟を固められた研修になったと思います。

研修後、看護部長・副学校長は「何かを掴んだ！」と清々しい表情に変化しておりました。慈愛会の組織は益々大きくなっていきますが、今後も一番大きな組織である看護部のトップマネージャーの実践能力を高める支援を継続していきたいと思っております。

看護部長の仕事成果を出すこと＝生花（ひまわり）掛け言葉で表現！ あきらめない 伝える力 達人ナースの育成



平成27年度 新任副看護部長研修実施

7月17日（金）実施 今年度の新任副師長に昇任した19名中17名の受講でした。まず、「直面している自己の課題」と「副師長となり良かったと感じていること」をグループワークで共有し、中重統括看護部長、谷山病院の中園副看護部長の副師長の講義で役割や資質について学習しました。最後に「自己の課題」を討議し新たに副師長としての自覚を高め修了しました。殆どの受講生が昨年の看護管理者任用候補者研修を受講しており、さすがに役割認識も高く、管理的視点も定まっております。昨年の研修から成長していることがわかりました。それでも役割を果たせないジレンマがあり、次期的に同期の想いを共有でき良い機会になったようです。研修で学んだことを実践し、いい職場作りに貢献して欲しいところです。期待しております。



病院見学会 ～ 今村病院分院 ～

病院見学会を6月11日・20日・22日・7月11日・19日・23日・30日の7回開催し合計21名の参加者がありました。今までの学校訪問や説明会参加、ホームページが効をなしております。見学会では、病院の概要説明、院内各部署見学、先輩看護師とのランチ会、教育担当師長との交流などを行いました。おもてなしの精神で、先輩看護師からの一人ひとり手作りウェルカムメッセージで歓迎し「みんな違うメッセージなんですね。嬉しい!」と感動から入りました。

また、ランチ会では、2年目の看護師と参加者だけの時間とし、何でもざっくばらんに話ができるようにしました。年齢が近い2年目看護師とあって、見学者も話をしやすかったようで、「採用試験の内容はどのようなものですか？難しかったですか？」「職場は楽しいですか？」「スポーツクラブはありますか？」「働きやすいですか？」「人間関係はどうですか？」など、正直に実態を話してくれる看護師に聞きたいことを聞くことが出来たようで、見学会の満足度は高い評価でした。協力して頂いた2年目の看護師の方々には、看護師確保の役割を果たして頂きありがとうございます。病棟師長も説明に力が入っており、看護職員が一丸となり確保する体制と帰属意識を高める風土が出来つつあると思っております。見学会に来てもらったことがゴールではありません。むしろスタートです。これからアプローチして、ぜひ入職につなげたいと思っております。



2年目看護師とのランチ会～ウェルカムカードも一緒に～



院内見学～6階東病棟 秋丸師長による説明～



教育について説明～柏木教育担当師長と共に～